

## 科学者委員会・男女共同参画分科会（第22期・第6回）議事要旨

- 1 日 時 平成24年10月9日（火）16:30～18:30
- 2 場 所 日本学術会議 第5-B会議室（5階）
- 3 出席者 江原由美子委員長、小舘香椎子副委員長、有信睦弘幹事、田畑泉幹事、井野瀬久美恵委員、辻村みよ子委員、太田喜久子委員、清水誠委員、桃井眞里子委員、新井民夫委員、川合眞紀委員（計11名）

### 【配付資料】

- 資料1 科学者委員会・男女共同参画分科会(第2回)議事要旨(案)
- 資料2 協力学術研究団体に対するアンケート調査結果
- 資料3 協力学術研究団体に対するアンケート調査票
- 資料4 男女共同参画分科会の今後のスケジュール予定(案)
- 資料5 内閣府男女共同参画局長依頼「科学者コミュニティにおける政策・方針決定過程への女性の参画を拡大する方策の審議について
- 資料6 男女共同参画局からの「科学者コミュニティにおいて女性の参画を拡大する方策についての検討」の審議依頼に関連してWG分担表

### 4 議 題

- (1) 男女共同参画局からの「科学者コミュニティにおいて女性の参画を拡大する方策についての検討」の審議依頼に関連してWGの活動状況報告
- (2) アンケート調査の実施について

#### (学協会調査について)

- ・WGの学協会アンケート調査結果について、担当責任者の委員から説明。その後意見交換が行われた。
- ・女性役員がいる学協会といない学協会について、ポジティブアクションの有無を調べたところ、ポジティブアクションをとっていない学会では、女性役員のいない学会が30%近くあることが分かった。
- ・ポジティブアクションへの取組みについては、漠然としたところがあるが、具体的なアクションとしては、女性役員の選出を会員に依頼。女性候補者の推薦制度を有している。役員に女性枠を設けている。女性役員の委嘱、指名を行っているなどが挙げられ、組織的な対応については、男女共同参画学協会連絡会に所属している。共同参画委員等の設置。特命理事、担当理事の設置といったことが挙げられた。その他の試みとして、全国大会で関連企画を設けている。関連シンポジウムを実施している。学会誌に関連特集記事を載せている。女性の世話人や講演者を推奨している。女性研究者の出前授業を実施している。などが挙げられた。
- ・委員長より、アンケート調査の結果を受けて、今後どのように分析を進めるべきか、また、さらなる調査をどのように行っていくべきかといった発言があり、これを受けて、ポジティブアクションを取っていることが学会の活動にどのような影響を及ぼしているのかということ把握することが重要ではないかとの発言があった。
- ・今回アンケートに回答してもらった団体に対して、ピンポイントで追加質問していくことが良いのではないかとの発言があった。

- ・学協会に対するヒアリングを実施すべきであり、団体のトップが女性である団体に対してヒアリングを行うべきとの発言があった。
- ・委員長より、WGにおいて、今後どのような方針でアンケート調査を行うか検討の上、結果を報告していただきたいとの発言があった。

#### (大学対象調査について)

- ・大学に対するWG調査について、委員長より、H25年の6月頃にアンケート調査を実施するのが良いのではないかと考えるが、回収率の問題などを考えて、調査票は従前どおりのものでよいか、国公立と私大について同じように実施するのが良いかWGにおいて検討していただきたいとの発言があった。
- ・大学向け調査の意義・結果利用の方法、結果公表のメリット・デメリットの比較衡量などについて意見交換が行われ、WGにおいて今後検討することにした。
- ・委員長等から、調査のネット化に伴い、私学事業団、国大協、公大協にアンケート調査を行ってもらうことはよいのではないかと発言があった。
- ・委員長より、大学調査については、H25年6月～7月位にネット上で調査できるようWGにおいては準備していただきたいとの発言があった。

#### (報告書・シンポジウムについて)

- ・報告書作成WGについて、本件については、H26年7月の幹事会において報告する必要があり、従って、H26年6月までに報告書を完成させる必要がある。これに伴って、シンポジウムを実施するのであれば、H25年秋からH26年春までに行う必要があるとの発言があった。
- ・委員長より、各WGにおいて、今後の方向性を決めてもらうこととし、来年の5月～6月を目途に、大学向けのアンケート調査を行うということで、作業を進めてもらいたいこと、さらに、来年の秋を目途に、これらの結果を踏まえて、男女共同参画協議会との共催でシンポジウムを開催することとし、H26年7月の幹事会に向けて、5月～6月には、報告書をまとめるという形で作業を進めることとするとの発言があった。
- ・次回は、大学向けアンケート調査を実施する前に分科会を開催することとなった。

以上